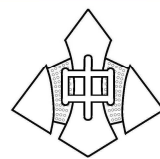


# 手をたずさえて

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年7月31日(金)発行  
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

## “KOHARADA WAY”

第1学期終業式  
校長式辞

新型コロナウイルスの感染者数が連日過去最多を更新している今、止まらない感染拡大に大きな不安や危機感を感じます。そのような状況の中ではありますが、ここに第1学期を終了できることに安堵感も感じます。様々な制限や制約がある中、君たちはよく耐えて頑張ってくれたと思います。

さて、今日はラグビーの話から始めます。

2015年9月19日、「スポーツ史上最大の番狂わせ」が起きました。

過去W杯で1勝しかしていなかったラグビー日本代表が、W杯で2度の優勝経験のある世界の強国「南アフリカ」を撃破したのです。

エディー・ジョーンズ氏がラグビー日本代表監督に就任したのは2012年です。その頃、国際試合でなかなか勝つことのできない選手たちのマインドセット(ものの見方や考え方)はとても世界で勝てる状態ではありませんでした。「ワールド・カップで勝つ」と言っても、「日本は過去に1勝しかしてないんです。」「日本人は外国選手に比べて小さいので無理です。」などと、弱音を吐いていました。自ら「勝てない」と思い込んでいるチームが、どうして世界で勝てるのか。そこで、エディー監督は、選手たちに世界トップレベルの「ハードワーク」を課しました。合宿は早朝から夜までの3部構成の練習。厳しい練習を通して「W杯では勝てない」と思い込む選手たちに、世界レベルの「勝利のマインドセット」を育てていきました。この時、エディー監督は「日本人の強み」をいかす「ジャパン・ウェイ(Japan Way)」を提唱したのです。エディー監督の言葉です。



日本人は、自分の長所に気付くことが、非常に不得手だと思えます。そこへ内向きでシャイな資質が加わり、「どうせうまくいくはずがない」と、マイナス思考を凝り固まらせている人がとても多いのではないのでしょうか。「自分はどうせダメだ」というマイナス思考が成功を阻んでいるのです。それを取り除きさえすれば、誰でも成功を手に入れることができます。



エディー監督は、チームに「ジャパン・ウェイ」という日本独自のやり方を植え付けました。これは、他の国には真似できない「日本人らしさ」を徹底的にいかしたものです。そこにはプレースタイルやトレーニング方法だけでなく、努力の仕方、マインドセット(心構え)など、精神的なものも多く含まれていました。

そして、エディー監督は、日本人の特徴を「信頼」「忠誠心」「努力」と3つに整理し、「日本人にしかない強い力」を次のように列挙しています。

「限りない粘り強さ」「並外れた勤勉さ」「きめ細かな技術」「頭のよさ」、そして「あの感動的な連帯感」

日本人の粘り強さ・勤勉さをベースにした努力を続ける行動姿勢は、他国の選手にない「強み」である。エディー監督はそう選手に説き、「世界一の練習量」と言われた1日3部制のハードワークを選手に課しました。この練習に耐え抜いた選手たちは、テストマッチ(国際試合)で勝利を重ねていくと、そのマインドセットを着実に変化させていきました。「自分たちは世界で通用する」…そう思えるようになっていったのです。そして、2015年のW杯での大躍進につながったのです。

さらにこの流れは続き、監督は変わりましたが、2019年に日本で開催されたW杯では、予選リーグを4戦全勝で駆け抜け、日本はアジアラグビー史上初のW杯8強進出を遂げたのです。

今までみんなには詳しく話していませんでしたが、私は小原田中の学校経営に“KOHARADA WAY”という言葉掲げています。実は、この“KOHARADA WAY”は、エディー監督が提唱した「ジャパン・ウェイ (Japan Way)」に由来しています。

“KOHARADA WAY”とは、「小原田中らしさ」のことです。

きみたちは、「小原田中の誇れるところとは何ですか？」と問われたら、何と答えますか？

何か頭の中に思い浮かぶものはありますか？

2学期以降、機会があれば君たちの考えを聞きたいと思います。

「小原田中の誇れるところ」が「“KOHARADA WAY” (小原田中らしさ)」であり、それは同時に「小原田中の強み」になります。それらを一つでも多くつくっていくことができれば、どんな困難に直面しようとも、困難に打ちかつことができるのではないかと考えます。

## そして、“箍(たが)を緩(ゆる)めないこと”



樽(たる)などの外側にはめる、竹や金属で作った輪のことを「箍(たが)」と言います。そこから、「箍が緩(ゆる)む」と言えば、「気がゆるむこと」。「箍が外(はず)れる」とは、樽の箍が外れ樽の板がばらばらになることから、「緊張がとれ、しまりがなくなること」のたとえです。ばらばらになってしまった樽の板を元どりにするのは容易なことではありません。

今、「箍が緩んでいる」人はいませんか？

夏休みを目前にした今、「箍を緩めることなく」(緩んだ箍があるならば、もう一度きつく締め直して)行動してほしいと思います。

小原田中全体の夏休みの最大の目標は、事故「0」の夏休みにすることです。事故とは、交通事故、火災事故、水難事故、喫煙・万引き・傷害などの非行事故、SNSによる誹謗中傷などの書き込みなどを含めたいじめなどの生徒指導事故など、あらゆる事故をさします。きみたちは、長期休業中でも社会、そして学校のルールやきまりの上にあることを忘れずに、決して後々の自分や他の人の心に傷をつけることがないようにしてほしい。もちろん、感染症対策にも手を抜かずに取り組んでほしい。

一人一人が「命の重さ」を胸に刻み、全校体制で事故「0」の夏休みにしていきましょう。

保護者の皆様へ

夏休みを迎えるにあたって…



保護者の皆様におかれましては、1学期の教育活動に対するご理解とご支援に感謝いたします。また、3年生の保護者の皆様には三者相談で来校していただき、ありがとうございました。

臨時休業、分散登校、学校再開を経て延長された1学期も終わろうとしています。多くの制限や制約の中で、生徒達はよく頑張ったと思います。新型コロナウイルスの感染拡大は止まず、まだまだ不安な日々が続きますが、2学期からは引き続き感染症対策の徹底を図るとともに、適宜状況を見極めながら、段階的に通常の活動に戻せる部分は戻していきたいと考えております。PTA活動についても、できることから再開してまいります。今後ともよろしく願いいたします。そして、お子さんにとって是非とも“何かを得ることができた夏休み”になるよう、ご指導・ご助言をお願いいたします。特に3年生にとっては、重要な期間となります。1日1日を大切にしてほしいと思います。

- ◆ 家庭における感染症対策に手を抜かずに取り組ませるようお願いいたします。毎朝の検温と健康チェック、外出時の注意(3密の回避、マスク着用、手指消毒や手洗いの徹底など)併せて、家族ぐるみでの取り組みもお願いいたします。
- ◆ 交通事故、水難事故、非行事故等…あらゆる事故防止のためにご指導をお願いいたします。また、お子さんの動向や交友関係の把握、スマホ・携帯・ゲーム等の使用状況についても気配りをお願いいたします。
- ◆ 毎日の学習時間の確保と部活動への積極的参加に対するご支援をお願いいたします。手伝いなど家庭の一員としての役割も果たせるようお願いいたします。



3年学年集会 7/30

- ◎ 夏季休業中のご家庭への情報提供(緊急対応等)は、メール及びホームページで行います。また、夏休み期間中、何かありましたら、担任や学校等にご連絡ください。